

## 心不全治療と地域医療における 循環器内科の取り組みについて

循環器内科 医長 永野 雄一郎



地域医療機関の皆様には平素より様々な御支援を賜り、心より感謝申し上げます。  
今回は循環器疾患の中で近年最も大きな問題となっている心不全と、地域医療における当院循環器内科の取り組みについてお話をさせていただきます。

### ●心不全の現状と治療

循環器疾患の中で心不全と急性冠症候群（ACS）・その他の虚血性心疾患が疾患別死亡原因の大きな割合を占めています。ACS に関しては治療体制の向上により生命予後は大きく改善しましたが、その一方で超高齢化社会となった我が国では心不全の患者数・死亡数はともに増加しています。

心不全は心不全症候が出現する前のステージ A・B と、心不全症候が出現した後のステージ C・D の4つのステージに分類されます。心不全を発症した時点で既にステージ C となり、ステージが進行しないよう、特にステージ B → C とならないように予防することが極めて重要となります。

心不全の薬物治療においては、従来のβ遮断薬・アンジオテンシン変換酵素阻害薬（ACE-I）/アンジオテンシンⅡ受容体拮抗薬（ARB）・ミネラルコルチコイド受容体拮抗薬（MRA）に加えて、近年新たな心不全治療薬として SGLT2阻害薬・アンジオテンシン受容体ネプリライシン阻害薬（ARNI）・HCN チャネル阻害薬・可溶性グアニル酸シクラーゼ刺激薬が登場しました。

その中でも SGLT2阻害薬のエンパグリフロジン・ダパグリフロジンは、これまで有効な治療薬がなかった左室駆出率が50%以上に保持された心不全 Heart Failure with preserved Ejection Fraction (HFpEF) に対しても有効であるといった大規模臨床試験の結果が発表され、初めての HFpEF 治療薬として期待されています。

上記治療薬の登場にて、現在は Fantastic Four と称されるβ遮断薬・SGLT2阻害薬・ARNI・MRA の4剤が心不全治療の中心となっています。

実臨床においてはご高齢の心不全患者が多く、血圧・脈拍・腎機能等の様々な面で薬剤の使用をためられる事があるかと思いますが、可能な限り積極的な心不全治療薬の導入・増量・継続が望ましいとされています。

『新しい心不全治療薬の導入』を目指す時期から『新しい心不全治療薬の最適化』を目指す時期に移行しつつあると思われ、当院では個々の病状に合わせた最適な心不全治療を行えるよう努めております。

また、心不全患者の多くは糖尿病・腎臓病・呼吸器疾患等の複数の疾患をかかえておられる方も多く、各

科と連携しながら治療を行っています。

病状が落ち着かれた方につきましては、近隣の先生方に御加療の継続をお願いさせていただいており、病診連携や介護・福祉サービスと連携しながら、包括的な心不全治療を行っていただければ幸いです。

### ●循環器疾患の救急診療

まず何よりも心臓病を発症しないように予防することが重要ですが、急性心不全や ACS を発症してしまった場合、当院にて救急対応を行っております。

急性心不全に対しては酸素投与・利尿薬・血管拡張薬・強心薬等による治療を行い、呼吸状態が重篤な場合は非侵襲的陽圧換気（NPPV）や挿管による人工呼吸器管理を行っています。

ACS に対しては冠動脈造影検査（CAG）と経皮的冠動脈インターベンション（PCI）による精査加療を行い、高度の徐脈性不整脈に対する一時ペーシング留置や、大動脈内バルーンパンピング（IABP）・経皮的心肺補助法（PCPS）を用いた補助循環サポートによる対応も可能です。

急性期の病状が落ち着けば、内服薬や心臓リハビリテーションによる治療を継続しながら、ご病状・ADL・生活環境等を含めた個々の状態に合わせての退院・転院調整を行っています。



アンギオ装置



IABP (左) と PCPS (右)

### ●一般外来での診療や検査

基本的には下記日程にて一般外来での診療・救急対応・予定検査を行っており、冠動脈 CT や心臓 MRI による精査も可能です。

		月	火	水	木	金
午前	一般外来	○	○	○	○ 第2週 不整脈	○
	救急対応	○	○	○	○	○
午後	検査	心臓カテーテル 検査・治療	冠動脈 CT	心臓カテーテル 検査・治療	負荷心電図	心臓カテーテル 検査・治療
	救急対応	○	○	○	○	○

アンギオ室では CAG/PCI の他、右心カテーテル検査、末梢動脈疾患（PAD）に対する下肢動脈造影検査や末梢血管治療（EVT）、恒久的ペースメーカー植込み術も行っています。

また、心房細動 / 心房粗動・発作性上室頻拍等に対してカテーテルアブレーションによる治療が必要な場合は、神戸市立医療センター中央市民病院と連携して治療を依頼しており、毎月第2木曜日にある不整脈外来へのご紹介のほど宜しくお願いいたします。

当院循環器内科は常勤スタッフ 4 名と少数ではありますが、日中は勿論のこと、休日・夜間もファーストコール体制をとって可能な限りの対応をさせていただいております。

近隣の先生方の診療時間帯で循環器対応を要する方がいらっしゃいましたら、お気軽にご連絡を頂ければ幸いです。引き続き地域医療に貢献していく所存ですので、今後とも宜しくお願い申し上げます。



# 禁煙治療の取り組みについて

副院長兼呼吸器内科部長 富岡 洋海



## ●西市民病院禁煙外来のべ治療患者数は1,000人を突破しました。

当院の禁煙外来では、2007年8月の開設以来、のべ1,000人以上のニコチン依存症の患者さんに禁煙治療を行ってきました。これら禁煙治療算定患者数の推移（図1）を見ますと、禁煙外来開設後、順調に増加し、4年後の2011年をピークに徐々に減少に転じています。2010年10月のたばこの値上げの影響も大きかったと思いますが、この地域における禁煙の推進に、当院の禁煙外来が一定の成果を上げてきた結果と考えております。これも禁煙外来へ患者さんをご紹介いただきました地域の医療機関の皆さまのおかげであり、この場を借りてお礼申し上げます。

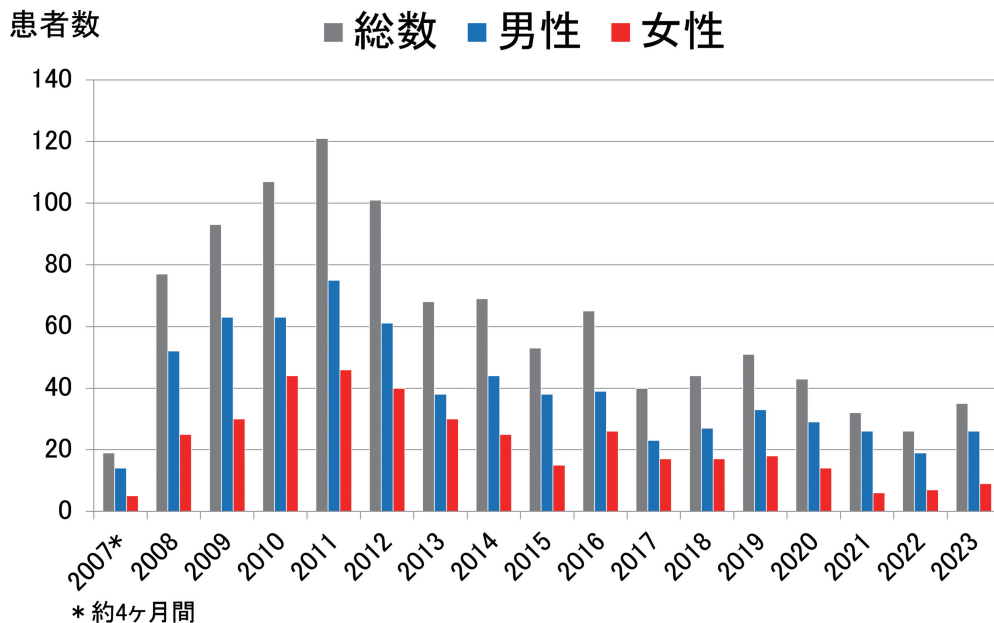


図1 西市民病院 禁煙外来算定患者の推移

## ●禁煙治療はチーム医療で行なっています。

医師、看護師、薬剤師、事務から構成される「禁煙チーム」として活動しています。禁煙外来では、専門看護師による禁煙状況の確認と相談・禁煙アドバイスや禁煙パンフレットの説明、薬剤師による禁煙補助薬の使用法・副作用・他の薬剤との相互作用など薬学的側面からのアプローチを行っています。令和2年度からは、スマートフォンを利用したオンライン禁煙外来も行なっています。また、コロナ禍で集合開催を中止しておりました禁煙教室も、この4月から再開しております。医師・薬剤師・看護師から、たばこによる健康被害・禁煙の薬・禁煙のこつなどについてわかりやすく解説しています。

## ●西市民病院禁煙外来から学術エビデンスを発信しています。

当院禁煙外来のデータは、Kobe City Medical Center West Smoking Cessation Registry として、ここから様々な学術エビデンスを発信しています。

禁煙治療は、禁煙成功・失敗の結果にかかわらず、ニコチン依存症患者の健康関連 QOL を改善すること<sup>1)</sup>。



禁煙外来のべ813例の治療成績では、433例（53.3%）が治療を完遂し、そのうち66.5%が禁煙に成功、そして、禁煙失敗を予測する有意な因子は、ベースラインの呼気一酸化炭素（CO）濃度が高いこと、精神疾患があること<sup>2)</sup>。たばこ病である COPD 患者のべ155例の禁煙外来の成績では、107例が治療を完遂し、74例が禁煙に成功し、禁煙成功者では呼吸機能 1 秒量、ピークフロー値が有意に増加すること<sup>3)</sup>。禁煙治療を完遂したのべ509例の呼吸機能の変化について、1 秒量の有意な増加に関連する因子として、気管支喘息症例とベースラインの 1 秒量が低いこと<sup>4)</sup>。…などです。

また、加熱式タバコ iQOS<sup>®</sup>でも、通常の紙巻きタバコと同様に、急性の肺障害である急性好酸球性肺炎をひきおこすことを世界ではじめて報告し<sup>5)</sup>（図2）、私も一般社団法人禁煙推進学術ネットワークのメンバーとして作成に関わりました「加熱式タバコに関する見解及び要望」（2024年5月31日財務省・厚労省に提出）にも引用しています。

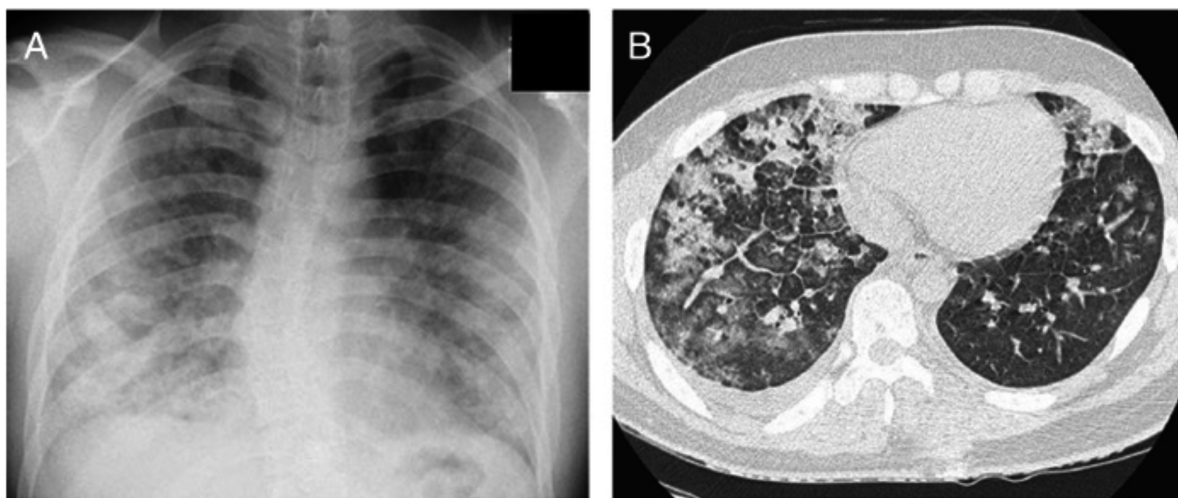


図2 iQOS<sup>®</sup>による急性好酸球性肺炎（20歳代、男性）<sup>5)</sup>

### ●引き続き当院の禁煙外来、禁煙教室をよろしくお願いします。

われわれのミッションは、健康増進法に基づき、病院および地域における喫煙による健康被害（受動喫煙も含む）を防ぐことです。タバコをやめられないという喫煙習慣の本質はニコチン依存症である、という認識が重要です。まだまだ喫煙者が多いこの地域において、皆さまと協力してこのミッションを進めていきたいと思っております。今後ともご支援よろしく申し上げます。

- 1) Tomioka H, et al. Impact of smoking cessation therapy on health-related quality of life. *BMJ Open Res* 2014;1:e000047.
- 2) Tomioka H, et al. Ten-year experience of smoking cessation in a single center in Japan. *Respir Investig* 2019; 57:380-7.
- 3) Hashimoto R, Tomioka H, et al. Smoking cessation therapy for COPD patients with nicotine dependence; outcomes and factors that predict successful smoking cessation. *Respir Investig* 2020;58:387-94.
- 4) Iwabayashi M, Tomioka H, et al. Impact of smoking cessation therapy on pulmonary function: Identification of factors predicting improvement of forced expiratory volume in 1s. *J Chronic Dis Manag* 2023;7:1034.
- 5) Kamada T, Tomioka H, et al. Acute eosinophilic pneumonia following heat-not-burn cigarette smoking. *Respirology Case Reports* 2016;4:e00190.

## 薬剤長就任のご挨拶

薬剤部 薬剤長 平 島 正 樹



この度、2024年4月1日より神戸市立医療センター西市民病院薬剤部 薬剤長に就任しました平島 正樹（ひらばたけ まさき）と申します。地域の患者さんのよりよい薬物治療に貢献できるよう精進してまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

私は1996年に東京薬科大学大学院 薬学研究科医療薬学専攻を卒業し、医療法人財団河北総合病院 薬剤部で3年間勤務後、1999年に地元神戸の市立中央市民病院に就職いたしました。以来25年間、中央市民病院で勤務し、この4月に西市民病院に異動となりました。中央市民病院では長くがん化学療法業務に携わり、レジメン管理や外来化学療法センターでの患者さんへの薬剤説明・副作用マネジメント、院内の全抗がん剤の薬剤部調製、抗がん剤暴露対策などに取り組んでまいりました。また2014年からは経口抗がん薬の薬剤師外来も担当しておりました。

私が卒業後初めて就職した頃は、「臨床薬剤師」という、今では当たり前になりましたが、薬剤師が病棟に行き患者さんと直接お会いして薬の説明などをする病棟業務が始まりでした。それまでの薬剤師の業務は調剤業務がほとんどでしたので、私もその「臨床薬剤師」に憧れて病院の薬剤部に就職しました。

今では病院薬剤師の業務は多岐にわたり、西市民病院でも調剤・注射業務のほかに病棟薬剤業務 / 薬剤管理指導業務、抗がん剤のミキシング（混注）、外来化学療法センターでの患者指導、医薬品情報（DI）、薬物血中濃度モニタリング（TDM）、麻薬管理、製剤、栄養サポートチーム（NST）、感染管理チーム（ICT）、周術期サポートチーム（POST）などの各チーム医療にも参加しております。また最近では薬剤師外来も行っており、抗凝固剤等、手術前に中止する必要がある薬剤が常用薬に含まれていないかなどを確認する「お薬確認外来」や、抗がん剤治療を受けている患者さんに医師の診察前に薬剤師が面談し副作用マネジメントを行う「抗がん剤の薬剤師外来」も行っており、患者さんのよりよい薬物治療のため日々努めているところであります。一方、昨今の医薬品供給不足の問題から医薬品管理業務の負担が大きくなっております。これは地域の先生方や保険薬局の皆様もご苦労されていることと思います。安定供給回復にはまだ時間がかかるとは思いますが、引き続きご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

近隣の保険薬局の皆様とは月1回の薬薬連携検討会で情報・意見交換を行っています。2022年12月からは院外処方せんに関する「問い合わせ簡素化プロトコール」を導入し、この取り組みに賛同いただいている保険薬局からの問い合わせが1年間で785件（2023年度）減少し、保険薬局の皆様とともに当院の医師の負担軽減にもつながっております。

教育・研修に関しては、薬学部の11週間の実務実習を年3期、合計15名の実習生を受け入れています。また薬剤師レジデント制度も導入しており、2年間の研修を日本医療薬学会研修ガイドラインに準拠したカリキュラムで行い、実務実習と同様、指導する薬剤師も共に学ぶという姿勢で取り組んでおります。

西市民病院はアットホームで温かく親しみやすい雰囲気があります。この雰囲気を大切に、薬剤部も様々な業務、取り組みで地域医療に貢献していけるよう精進してまいりますので、引き続きご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



薬剤部スタッフ一同

## 西市民病院 第12回地域連携のつどい 開催のご案内 [第2報]

日 時：令和6年10月24日(木) 18:00~21:00  
会 場：ホテルクラウンパレス神戸5F ザ・ボールルーム  
〒650-0044  
神戸市中央区東川崎町1丁目3-5  
※JR神戸より徒歩2分(駅より地下街にて直結)



### 【第1部】講演会 18:00~20:00

- I：『消化器疾患診療における地域連携 ～当科の目指すもの～』 消化器内科部長 清水 孝洋  
II：『進行がんでも治療を諦めなくていい理由  
～手術支援ロボットと最新薬物療法でここまで闘える時代に～』 消化器外科部長 中嶋 早苗  
III：『泌尿器科紹介 ～一人一人の患者さんに最適な、かつ高品質な治療を提供するために～』 泌尿器科部長代行 吉井 貴彦

### 西市民病院診療科・医師紹介

※各診療科長より診療科紹介をさせていただきます。



### 【第2部】懇親会 20:00~21:00

お申込み方法：★申込開始しております

- (1) QRコードからのお申込みは、読み取ってご登録下さい。
- (2) Eメールでのお申込みは、w\_kouza@kcho.jp まで下記の内容を送信してください。  
①氏名・②所属・③職種・④役職・⑤電話番号・⑥返信用メールアドレス・⑦参加方法(1部・2部両方参加/1部のみ参加/2部のみ参加)

※日医生涯教育講座カリキュラムコードについては申請予定

問合せ先：地域医療在宅支援室

横谷・濱崎・藤田 代表 078-576-5251 (代表)

### 医師の転出・転入等のお知らせ

#### 【転出等 7月31日付】

所 属	補 職	氏 名
泌 尿 器 科	医 長	岡田 桂輔
麻 酔 科	副 医 長	土田 高裕

#### 【転入等 8月1日付】

所 属	補 職	氏 名
麻 酔 科	専 攻 医	斎藤 成美



# FAX予約の取り方

患者さんをご紹介いただく場合は、FAX 予約をしていただくようお願い申し上げます。

## FAX 予約の メリット

- 診察までの**待ち時間が短縮**できる  
※令和5年度実施の待ち時間調査において、「**FAX予約あり**の場合」は、「事前予約なしの場合」よりも**約20分短い**との結果が出ました
- 受診時の受付・手続きが簡単になる
- 紹介元医療機関から必要な情報が事前に伝わる

1. 対象 医科・歯科・検査（CT・MRI・骨密度・上部消化管内視鏡）
2. 内容 下記のⅠ・Ⅱのいずれかを選択してください  
※電話でのやりとりが困難な患者については、従来通り【運用Ⅰ】をご利用下さい
3. 紹介状の様式 当院ホームページ（QRコードからダウンロード）よりご利用ください
4. その他 抜歯等の処置については、新型コロナウイルス感染症の感染状況により、初診時は診察のみとし、1週間程度の体調確認の上での処置となります



## 継続

### 【運用Ⅰ】

#### 【かかりつけ医】

- 診療情報提供書作成・FAX 送信
- 「診療情報提供書（原本）」を患者に渡す  
※ CT・MRI・上部消化管内視鏡検査の場合は説明書を患者さんに渡す  
※ 紹介状の【日時調整先】の【②かかりつけ医】にチェック☑を入れる



### 【運用Ⅱ】

#### 【かかりつけ医】

- 診療情報提供書作成・FAX 送信
- 「診療情報提供書（原本）」・「電話予約案内・予約票」を患者さんに渡す  
※ CT・MRI・上部消化管内視鏡検査の場合は説明書を患者さんに渡す  
※ 紹介状の【日時調整先】の【①患者】にチェック☑を入れる

※貴院所定の紹介状をご利用の場合は、当院の紹介状を添付していただくか、空いているスペースに「**患者調整**」と明記して下さい。

- 【患者】「電話予約案内・予約票」に予約日時を記入する
- 「**患者専用予約電話番号**」に電話をする

患者専用  
電話番号

**078-958-6780**

受付  
時間

月～金：**13:00～16:00** / 土：9:00～13:00

【西市民病院（病診連携室）】 FAX 予約専用番号：078-579-1943

- 予約取得
- 予約票をかかりつけ医にFAX送信

Table with columns for Department (診療科/診察室), Date (月), Time (午前/午後), and Doctor (医師). Rows are categorized by department: Internal Medicine (内科), Pediatrics (小児科), Surgery (外科), Obstetrics/Gynecology (産婦人科), Nephrology (泌尿器科), Otorhinolaryngology (耳鼻咽喉科), Infectious Disease Center (認知症疾患医療センター), Psychiatry/Neurology (精神・神経科), and Dermatology (皮膚科). Each row lists the doctor for each time slot and includes special notes like '予約制' or '受付終了'.